



新潟県古志川郡山古志村 昭和45年より12年間に渡り、研究所のホームグラウンドの1つとなった村、生活の記録から民具資料館の開館など村の振興に協力した。 昭和46年(1971)1月・63歳



物質文化の研究は、写真台帳を手分析することが多い。宮本の膨大な写真の中にその事例が無数にあるからである。宮本は写真の1コマ~からその題材を発見していく。 昭和43年(1968)6月10日・60歳



研究所にて忘年会。得意の芸を披露。 昭和48年(1973)12月22日・66歳



昭和47年(1972)10月19日「あるくみるさく」12月号の座談会 65歳



「あるくみるさく」は1号ごとにテーマを変える総特集形式の月刊誌で、昭和42年(1967)3月から昭和63年(1988)12月号まで21年と10カ月に渡り、263号が観文研より発行された。



微笑に迎えられ話を始めると、その中に沢山の問題、つまり宝ものが湧き上がってゆく。そう感じて宮本常一の虜となる若者の集るところが観文研だった。 昭和48年頃

観文研・あるくみるさく

※観文研 日本観光文化研究所